

平成 29 年 1 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社ナガオカ  
代表者名 代表取締役社長 三村 等  
(コード:6239、東証 J A S D A Q)  
問合せ先 管理本部長 楯本 智也  
(TEL. 0725-21-5750)

## 第 2 四半期 (累計) 連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向及び市場環境を踏まえ、平成 28 年 8 月 9 日に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 29 年 6 月期 第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 7 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,580	△169	△183	△126	△60.92
今回修正予想 (B)	1,210	△218	△168	△115	△55.43
増減額 (B-A)	△370	△49	15	11	
増減率 (%)	△23.4	-	-	-	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 6 月期 第 2 四半期)	1,064	△374	△454	△288	△139.25

#### 修正の理由

##### ○売上高

水関連事業は、当連結会計年度より組織体制を変更し、営業に注力してまいりました。国内においては、顧客ニーズの収集・実証実験機の提案等を行ってまいりましたが、引き合い案件は出てきているものの成約に至らず、また受注済案件の工事の進行が遅れたため、売上に大きく寄与することが出来ませんでした。

海外の水関連事業は、以前より営業活動を行ってまいりましたが、受注を見込んでいた案件が進展しておらず、経営資源の有効活用の面から海外案件の掘り起こしを一旦見直すことにいたしました。今後はニーズのある国内需要の掘り起こしに注力し、限られた経営資源を有効利用し、受注拡充を図ります。

エネルギー関連事業は、原油価格が一定の水準まで回復してきているものの、第 2 四半期累計期間においては、需要の縮小は継続しており、既存の認証サプライヤー間の価格競争は依然として厳しく、また、新たな準サプライヤーが中国において現れたことから、価格競争は一層激化することとなりました。また、受注に至った案件についても、非常に厳しい価格競争となっており、予定していた案件の失注も散見されております。

以上の結果、売上高は、前回発表予想に対し、370 百万円減の 1,210 百万円に修正しました。

○営業利益

期初より固定費及び販管費の削減に取り組んでいますが、案件の失注や期初の計画と比較し案件の受注が遅延していることから、工場の稼働が上がらず原価率が増加したことにより、営業利益は前回発表予想に対し 49 百万円減の△218 百万円に修正しました。

○経常利益

為替変動の影響を受け為替差益を計上したことにより、経常利益は前回発表予想に対し 15 百万円増の△168 百万円に修正しました。

2. 通期の業績予想について

第 2 四半期累計期間の受注状況及び市場環境を踏まえた上で、今後の受注見通し及び納期並びに生産計画等を現在精査中であり、平成 29 年 6 月期の通期連結業績予想については、第 2 四半期決算発表時に公表する予定です。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

以上